

佐野市長への文化提言

佐野市文化協会

令和5年3月20日

—市長への文化提言—

私たち佐野市文化協会会員一同は、本市の芸術文化の発展について検討した成果を取りまとめ、ここに提言書として提出させていただきます。

新型コロナウイルスの感染拡大により文化協会の活動も大きな制約を受けましたが、市からの新型コロナ対策補助金を活用し規模を縮小した市民文化祭の開催や佐野ケーブルテレビのご協力を得て無観客公演をテレビ放映するなど様々な工夫を行いながら活動の継続を図ることができました。あらためまして厚く御礼申し上げます。

感染状況も収束の傾向を示すことから文化協会としてはさらなる活動の活性化を図って参りますが、市の方針であります「選ばれる佐野市」となるためには、魅力ある文化都市を目指すことが必要不可欠と考えます。市民の皆様へ優れた芸術文化を提供し、なお一層の芸術文化環境の整備促進を図るために佐野市と文化協会が車の両輪として機能することが必須と考えます。佐野市執行部の皆様には芸術文化に特段のご理解とご配慮をいただき、文化行政をさらに推進していただきますようお願い申し上げます。

令和5年3月20日

佐野市長 金子 裕 様

佐野市文化協会
会長 廣瀬 裕

1 文化芸術に親しめる環境づくりに関して

- (1) 佐野市の文化施設の多くは、老朽化、設備の経年劣化等が進んでいます。高齢者や障がい者も支障なく利用できるように、施設のバリアフリー化や各種設備等の更新が求められており、計画的な改善をお願いいたします。

また、車社会であることから、各施設利用に関して駐車場の更なる充実が必要ではないかと考えます。特に休日は市役所駐車場が満車になり佐野市民ギャラリーのイベント開催時に支障をきたしております。近隣駐車場を含めた休日の用途特化による活用が有効と考えます。

- (2) 佐野市の未来を担う子どもたちへの投資の一環として、現在実施されている子ども芸術鑑賞事業は、人格形成上も非常に有効であると思われまので、小中学校時代を通して鑑賞回数を増やす必要があるように思います。子どもたちが本物の芸術に触れる機会を増やし、体験分野を広げることが、心豊かな人間形成の更なる一助となるのではないのでしょうか。

現在、文化協会では小中学生に直接文化芸術に触れてもらうため、会員が学校に出向く「出前講座」を実施しておりますが、新型コロナの影響もあって停滞をしております。そこで行政が中心となり市内各校ニーズとのマッチングを図っていただきたくお願い申し上げます。文化協会も積極的に人材紹介や提供可能なスキルの情報提供を行って参ります。これにより文部科学省の指導要領に沿った子どもたちへの教育が充実するものと考えます。

2 伝統文化・郷土芸能・文化財等に関して

- (1) 佐野市においては「唐沢山城跡」（国指定史跡）や「天明鑄物」（ユネスコ協会の未来遺産）など他市に誇れる貴重な文化遺産があり各方面から高い評価を受けておりますが、これらの保存、育成のほか、市内外への積極的な情報発信や、施設環境の強化等が必要であると考えます。

- (2) 天明鑄物や、飛駒和紙、ひな人形、藍染等の伝統工芸や、牧歌舞伎、鎧塚宮比講神楽を始め、市内各地に残されている郷土芸能などは、佐野市の宝として保存・継承する必要があると考えますが、後継者不足、資金不足等の課題があり、市としてのバックアップが必要と考えます。

- (3) 佐野市は令和元年に未曾有の台風災害に見舞われました。その際、地域の価値ある史料も被害を受けました。市内には、市民が所有している美術品や貴重な古民具、古文書等の史料が多くあります。これら貴重な史料を未来へ受け継ぐため、市において寄贈や寄託など受け入れられる収蔵施設等の環境整備が必要と考えます。

3 市の文化行政に関して

- (1) 現在、文化会館のリニューアル工事を計画中と承知しておりますが市民の皆様は、より充実した芸術鑑賞の場、発表の場を提供するために利用者の要望を積極的に取り入れていただきたい。また、利用できない期間の代替施設は行政側の管理元が複数の部署になることから部署間の調整をお願いします。合わせて当該期間の減免等の優遇処置をご検討いただきたい。
- (2) 市内には短大や高校がいくつもあり、文化芸術の活性化を図るためには学識者の高度な知識や技術とともに、若者の新鮮な感性を取り込める環境が整っていると考えます。そこに民間の力も加わる「産・官・学・民」の取組の中に、文化芸術の項目も取り入れることで、更なる活性化も期待できるのではないかと考えます。
- (3) 新たな街づくりに向けて、市内のハード面での整備は徐々に進められておりますが、文化芸術の活性化はそこに住む人、訪れる人へのソフト面での支えになると考えます。街づくりにおいては、文化芸術に関する施設の整備も必要と考えます。街づくりの議論のなかに、文化芸術各分野からの代表者も参加できる取組みが必要ではないでしょうか。
- (4) 旧佐野・田沼・葛生の1市2町合併から、18年が経過しました。合併後「市史」の編纂はなされていません。合併前の市町において、それぞれ市史・町史は編纂されていますが、合併後の市史編纂は佐野市の歴史資料として非常に有効なものとなるはずですが、ぜひ、事業化の検討をしていただきますようお願い致します。

4 文化協会の活動に関して

- (1) 会員の活動の中で、施設の利用で不便を来しているところがあります。現在、市内小中学校は統廃合を順次進めていますが、そこで生じる空き教室等について文化協会でも利用できるようお願いいたします。
空き教室の有効利用の点からも、文化芸術活動を行う上でもとても有益であると思います。
- (2) 文化芸術を理解する環境文化事業の一環として「佐野桜」の苗木を育苗し現在市民に配布することで普及推進に取り組んでいます。佐野の地名にちなんだ「佐野桜」を活用した「ゆとりと潤いのある環境づくり」のため市の事業の中に積極的に取り組んでいただきますようお願いいたします。
- (3) 今年度より文化協会では会員の文化活動を活性化するための委員会を設置し協議を重ねて参りました。提案された内容は佐野市の芸術文化をさらに充実・発展させたいという会員の強い思いが込められたものですが、実現には行政との連携が必須と考えます。具体的な計画へご理解とご支援をお願い申し上げます。